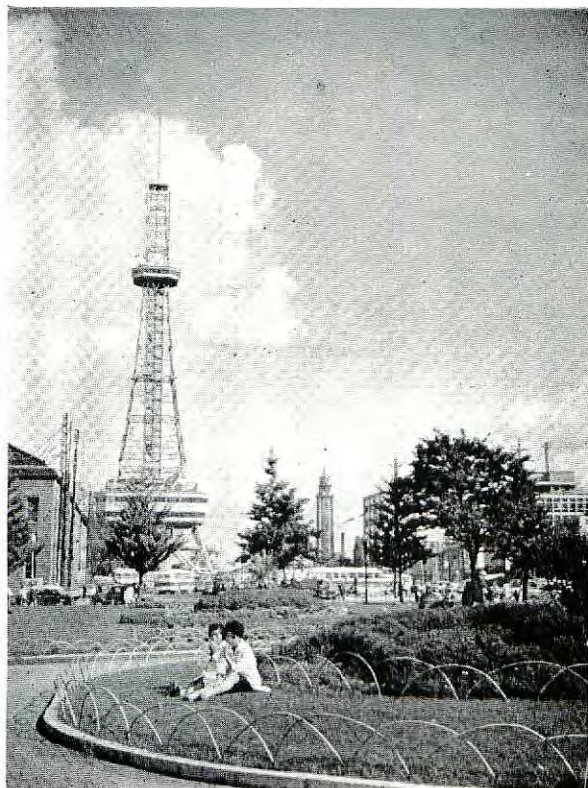


北海道議會時報

第 13 卷 第 7 号

昭 和 36 年 7 月



北 海 道 議 会 事 務 局

北海道議會時報第13卷第7号(昭和36年)

..... 第 7 号 目 次

議 会 の 動 き

常 任 委 員 会..... 1

特 別 委 員 会.....15

総合開発調査特別委員会

会 合

全国都道府県議会議長会.....17

都道府県議会議員互助会.....17

資 料

大 臣 次 官 一 覧.....18

政党主要幹部一覧.....19

6 月 の メ モ

表紙写真

— 大通公園 —

北海道議会議務局撮影

議会の動き

常任委員会

総務委員会

○6月2日 午後2時32分、第1委員室において開議、午後4時40分散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般議事

① 委員長より、先に井野(社)、佐野(社)委員より、要求のあつた町制施行関係、低開発地域、工業開発促進問題、炭鉱所在市町村財政救済対策及び東京事務所改築関係資料の提出があつた旨を述べ、ついで総務部長、管財課長より、提出資料及び先に佐野委員(社)より指摘のあつた病院事業特別会計、物品取扱規定の整備状況並びに井野委員(社)より指摘のあつた鶴川の赤痢集団発生に伴う保健所長の口頭告示の問題等について説明を聴取の後、

井野委員(社)より、公衆浴場の設置許可に関連して関係職員が法律条例を勝手に解釈して住民に不利益を与えているので正しい解釈をされるよう指導されたい、

公衆浴場設置許可の申請が3年間知事の手元に上つてこなかつた事例が札幌市にあるが、充分検討願いたい、また関係条例の改正について札幌市から意見書が提出され、これについて道で調査をするのに1年以上もかかるといわれているがどうか、

原田委員(自民)より、公衆浴場の設置許可について距離が近接しているという理由で葬り去られている事例があるがその実状を衛生部、保健所及び市当局に調査させた事例があるか、また保健所長の副申書がない場合は許可されないということがあるか、浴場組合の副申はいるのかどうか、距離などの関係は札幌市のみの条例なのか、

岩田(留)副議長より、距離制限を厳格にしているということは既得権を守つてやるとの考えか、あまりやかましくない温泉地との関係はどうか

について質疑及び要望があり、総務部長より答弁。

② 佐野委員(社)より、町制施行の問題に関連して前回総務部長は条例自体について検討したいといつていたが現地支庁の指導をどのようにやっているか、今後でてくる羅臼、愛別は北竜、雨竜、新冠などと比べ差異がないか、また申請町村にならつて他の町村もでてく

るようなことはないか、都市的型体、人口、戸数等町の要件に対する見解、東京事務所改築問題に関連して町村会、市長会、水産会などの事務所は東京事務所ビルの中に入れるのか、入れる場合事務所使用料は徴収する考えか、低開発地域の問題に関連して地反指定に本道はどこが入っているか、道の意見がどのように反映するのか、また本道における地域格差、二重構造などの問題がますます顕著になるのではないか、札幌、小樽などの先進地とへき地との経済格差の問題について財政的立場から調査検討の上報告されたい、

井口委員(社)より、地方税法の一部改正に関連して予算を補正する必要はないか

について質疑、総務部長、管財課長より答弁。

○6月3日 午前11時17分、第1委員室において開議、午後零時51分散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般議事

① 道議会議員単独選挙区設定問題の取扱いに関し、佐野(社)、井野(社)、井口(社)、原田(自民)、天谷(協)各委員より、質疑及び意見があり、岩田(留)副議長及び委員長より応答。

② 委員長より、明後5日午前10時より委員会を開くことについて諮り、異議なくそのことに決定。

○6月5日 午後4時47分、第1委員室において開議、午後5時15分散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般議事

委員長より、道議会議員の選挙区問題を議題に供し、原田委員(自民)より、本問題に関する自民党の意見がまだ決まっていないので結論がでてから委員会を開いてもらいたい旨の意見があり、暫時休憩の後、午後5時14分再開、委員長より、本日の議事はこの程度として明日午前11時より委員会を開くことについて諮り、異議なくそのことに決定。

○6月6日 午前11時39分、第1委員室において開議、午後4時50分散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般議事

① 佐野委員(社)より、6月3日開催の本庁部課長会議において「人事、予算執行は外部の圧力を絶対排除すべきである」云々の知事の訓示が新聞報道されているが、外部団体の圧力とは具体的にどのようなものを指しているのか、具体的事例をあげないで訓示したことは単なる思いつきか、外部団体の圧力に屈した事例があるから指摘したのではないか、関連して

井野委員(社)より、具体的にどのような事例があつたか、訓示は文書かあるいは口頭か、記録、草稿、テープ及びメモ等があれば資料として提出されたい

こと等について質疑があり、総務部次長（佐藤）より答弁、

佐野委員（社）より、圧力を加える外部団体とはどこか、防災課及び監察員制度等が設置されたため管理課の自主性がなくなるように思うがどうか、出先機関の物品購入に関する諸規定は次期議会までに行ける見通しがあるか、割掛金の徴収方法を統一する考えはないか、割掛金を人件費にあてることは好ましくない姿と考えるがどうか、炭鉱所在市町村財政救済関係資料に関し、この資料では炭鉱市町村がどのように窮乏し、また交付税によつてどのように措置されたかについてわからないので再度関係資料の提出方、固定資産税関係資料に関し、35、36年において全然評価を行なっていない町村があるがなぜか、宅地支持価格が引き上つているがなぜか、国の支持平均価格によつているものか全国で25%程度しかないということに関連して、交付税の算定に問題があるのではないか、各市町村は39年度の基準年度の改正を予想し、36年度以降徐々に評価率を高率にするようなことも考えられるのではないか、各市町村の宅地支持価格がまちまちであるが全道的視野に立つて検討すべきでないか、またこのアンバランスを39年度までには是正する見通しはないか、宅地の種地決定の基準はどうか

等について質疑があり、総務部次長（佐藤）、地方課長より答弁、暫時休憩の後、午後2時48分再開、

地方課長より、休憩前の佐野委員（社）の質疑に対し答弁があつた後、

佐野委員（社）より、⑧資金により農家が畜舎、さいろ、尿溜等を建てた場合、固定資産税を賦課されるか、酪農地帯等ではこのような施設は必須のものであり一考を要すると思うがどうか、関連して

津川委員（社）より、農家における消却資産に対する固定資産税の問題について道はどのように中央折衝したのか、固定資産税の不均衡等調査のため調査員が来道されているが、これの調査結果はどうか

等について質疑があり、総務部長より答弁、一旦休憩の後、午後3時19分再開、

委員長より、午前中の佐野委員（社）の質疑に対する答弁を求め、総務部長より答弁、

佐野委員（社）より、災害関係の所管を管理課の中におくことは防災課のできた今日適当でないのではないか、割掛金を人件費にあてることに対する見解及び人件費は全道一本に組むべきでないか、割掛金徴収の基準のないことについてどう考えるか、外部団体の圧力に関する知事の訓示に関し、これは綱記肅正との関連から述べたのではないか、これに対する審査員制度の活用及び業者、業界等が道行政に影響を与えることに対する見解並びに審査員、監察員の身分、権限品位は

どのようになつているか、監察員制度等の運用についての結論はいつ頃であるか、またこれに伴う人事異動はあるのか、

井野委員（社）より、知事の訓示は特定の事件を指していわれたのではないか、最近顕著な事例がでているが部長はこのことを認識しているかどうか、審査員、監察員制度は結果において橋山節のようなものになるのではないか、監察員3名で道行政の悪い面を是正することができるか土木部関係の工事請負契約が7件位いあると聞くが次期議会は委員構成等の問題もあり早期に開会されなければならないと思うのでこの見通しはどうか

こと等について質疑及び意見があり、総務部長より答弁、午後4時12分一旦休憩、午後4時31分再開。

② 委員長より、道議単独選挙区設定問題についてはまだ調整の段階にあり了承されたい旨を述べた。

○6月12日 午前11時30分、第2委員室において開議、午後4時55分散会、委員長 沖野政雄（自民）

請願、陳情の審査

請 願

第436号 道民税の大巾軽減及び職員給与改善等の件 (保 留)

第453号 北竜村に町制施行の件 (保 留)

第454号 雨竜村に町制施行の件 (保 留)

第455号 新冠村に町制施行の件 (保 留)

陳 情

第57号 北海道庁所蔵の旧記簿書を北海道図書館に移管の件 (不採扱)

第342号 北海道印刷所業務廃止要望の件

(不採扱)

第346号 択捉、国後両島の確保に関する要望の件 (保 留)

第621号 旧択捉島漁業者に対し北方地域特別見舞金交付の件 (採 扱)

第650号 札幌地域を地方都市開発計画の対象地区として指定の件 (保 留)

第679号 白タク取締の立法措置要望の件

(不採扱)

第680号 旭川市を地方開発基幹都市区域に指定要望の件 (保 留)

第682号 一己村の一部を深川町に編入の件

(保 留)

一 般 議 事

① 委員長より、道議単独選挙区設定問題について自民党議員会長より現在満場一致の線に至っていないので若干の冷却期をおきたい旨要請があり、私より早急に善処されるよう要望した旨を述べた。

- ② 橋本(清)委員(社)より、4月27日函館市原爆被害者会会長宅に一警察官が訪問、同会の性格、構成等について調査した事件に関し、道警はどのように考えるか、調査に当り何か犯罪者を対象としているかの印象をうけるが警察の職務遂行上必要とはどういうことか、警察官職務執行法第2条第1項の見解及び屋内における職務質問は許されるのか、公安調査庁の職務権限はどのようになっているか、道警本部において当該団体の調査を命じたのか

こと等について質疑及び要望があり、道警警備部長より答弁。

- ③ 委員長より、愛別村外2村の町制施行に関する現地調査を行なうことについて諮り、異議なくそのこのに決定。日程等については代表者会議において決定することとした。

- ④ 本日聴取した陳情は次のとおり。

端野村に町制施行の件 端野村長

○6月21日 午後1時53分、第1委員室において開議、午後2時53分散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般議事

- ① 井野委員(社)より、雨竜、北竜、愛別村について、井口委員(社)より、端野村、羅臼村及び新冠村の町制施行に関する現地調査の結果についてそれぞれ報告の後、異議なく報告を了承。

- ② 井野委員(社)より、町制施行に関する本庁と支庁の調査はどのように違うのか、

佐野委員(社)より、付託されている3ヵ村と付託されていない3ヵ村の取扱いをどのようにする考えか、また本件の取扱いに関し地元から申請があつてはじめて取り上げるいき方と積極的に行政指導の中で取り上げるいき方に対する見解はどうか

について質疑及び意見があり、地方課長より答弁。

暫時休憩の後、午後2時52分再開

委員長より、本件の取扱いについては各党代表者会議で決定することとし、本日はこと程度にとどめる旨を述べた。

○6月22日 午後4時2分、第1委員室において開議、午後4時45分散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般議事

- ① 委員長より、道議単独選挙区設問題については自民党議員会において一応の結論は出されたが、なお話し合いをもたなくてはならないので本件については明日の委員会において決定したい旨了承を求めた、

井野委員(社)より、明23日は本会議が招集されているので、道議単独選挙区設定等、懸案の諸問題については一応のけりをつけ、白紙で議会に臨みたいと考え

ているがこのことに対する見通しはどうか

こと等について質疑があり、岩田副議長より応答、ついで井野(社)、佐野(社)、井口(社)の各委員より質疑並びに意見の交換があり、副議長より応答。

- ② 本日の議事はこの程度にとどめることとした。

○6月23日 午後1時14分、第1委員室において開議、午後4時10分散会、委員長 沖野政雄(自民)

付託案件の審査

議案第1号ないし第5号、報告第1号ないし第13号について総務部長より説明を聴取の後、

橋本(清)委員(社)より、報告第8号の地代金請求調停事件に應ずる件に関し、本件は昨年来、鑑定委員会が調停のため間に入り、既に鑑定価格も出され結論の出る寸前にある問題であるが道はあくまでもこれに応訴する考えであるか

について質疑及び意見があり、総務部長より答弁。

請願、陳情の審査

請 願

- 第453号 北竜村に町制施行の件 (採 択)
 第454号 雨竜村に町制施行の件 (採 択)
 第455号 新冠村に町制施行の件 (採 択)
 第459号 愛別村に町制施行の件 (採 択)
 第460号 羅臼村に町制施行の件 (採 択)

陳 情

- 第696号 端野村に町制施行の件 (採 択)

○6月26日 午後1時36分、第1委員室において開議、午後1時42分散会、委員長 沖野政雄(自民)

付託案件の審査

- ① 報告第1号ないし第3号を一括議題に供し、異議なく承認議決とすることに決定。

- ② 委員長より、先に知事より議長に対し依頼のあつた専決処分事項指定の議決(道営住宅の明渡しの請求に係る訴訟、和解及び調停に関する件)については昨日の代表者会議において適当でないとの結論に達したのでこの旨議長に伝えることとし了承する旨を述べた。

請願、陳情の審査

陳 情

- 第325号 道議会議員選挙区変更の件 (採 択)
 第439号 滝川市を一選挙区とする道議会議員選挙区新設の件 (採 択)
 第449号 歌志内市を北海道議会議員の単独選挙区に設定の件 (採 択)
 第624号 道議会議員選挙区新設の件 (採 択)
 第665号 砂川市を単独選挙区とする道議会議員選挙区新設の件 (採 択)
 第697号 砂川、滝川、千歳、歌志内各市に道議会議員単独選挙区設定の件 (採 択)

厚生委員会

○6月12日 午後1時36分、第1委員室において開議、午後2時15分散会、委員長 事故のため、副委員長 松尾三良(自民)

一般議事

① 北海道血液銀行の日本赤十字社への移管問題について薬務課長より説明を聴取の後、その取扱いについて中野(社)、千葉(軍)(自民)、渡辺(社)各委員より、意見があり、副委員長より応答、次回委員会までにこの問題について各委員がそれぞれ検討しておくこととした。

○6月16日 午後1時34分、第1委員室において開議、午後3時8分散会、委員長事故のため副委員長 松尾三良(自民)

請願、陳情の審査

請願

第441号 失対労働者及び生活困窮者に社会保障制度拡充等の件 (採 択)

陳情

第280号 保育所並びに精薄児童施設整備拡充の件 (採 択)

第324号 道立旭川乳児院存続の件 (採 択)

第437号 石狩支庁管内の児童福祉司増員の件 (採 択)

第502号 道立旭川乳児院廃止の件 (保 留)

第509号 精神薄弱者収容施設増設要望の件 (採 択)

第536号 道立北海道身体障害者更生指導所の新設拡張整備の件 (採 択)

第537号 身体障害民間援護施設育成強化の件 (採 択)

第539号 身体障害者福祉法改正要望の件 (採 択)

第547号 拠出制国民年金制度改善要望の件 (採 択)

第594号 社会福祉法人ろうあ児施設室蘭言泉寮の復旧工事に対し助成の件 (採 択)

第590号 倶知安町所在八幡季節保育所建設に対し道費助成の件 (保 留)

第595号 財団法人北海道対ガン協会に対し助成の件 (採 択)

第598号 道立保健所運営充実強化の件 (採 択)

第599号 拠出制国民年金制度改善要望の件 (採 択)

第612号 社会福祉法人北海道点字図書館運営費に対し助成の件 (採 択)

第625号 拠出制国民年金制度改善要望の件 (採 択)

一般議事

① 道立中央児童相談所の火災について民生部長より説明を聴取の後、

中野委員(社)より、まったく火の気のない倉庫から失火したのか、について質疑があり民生部長より答弁。

② 太田委員(社)より、公衆浴場法施行条例の改正について知事も部長も検討を約しているがその後この問題についてどのような行政措置をとつたか次の議会で調査費を計上するのか、調査方法はどうか、現地の保健所職員のみで調査するのか、

千葉(軍)委員(自民)より、条例改正に当つては衛生管理の面も充分考慮すべきである、

渡辺委員(社)より、浴場調査の基本的考え方は何か、前回の委員会で配布された中央折衝の報告書によると社会保険国民年金行政にたずさわる国家公務員の身分切替の問題は解決の可能性がないように報告されているが、部長の見解はどうか

等についてそれぞれ質疑、意見及び要望があり、民生部長、衛生部長より答弁。

商工労働委員会

○6月7日 午後1時33分、第3委員室において開議、午後3時3分散会、委員長事故のため副委員長 伊藤作一(自民)

開議に先だち那須前商工部長及び村林新商工部長よりそれぞれ退任及び新任の挨拶があつた。

一般議事

① 労働科学研究所の運営問題に関し、千葉(大)委員(社)より、知事就任以来労研に所長を発令していないが、この間処務規定にある所長の専決処分をどのようにしていたか、所長任命の場合部長は推選する権限を与えられているか、総務部長は任命を急ぐ必要はないとのことだがその事情はどうか、今までに部長から適任者の推選を行なつたことがあるか、前労働部長が労研で仕事をしたことの資料をだせるか、労研は機構改革の対象となつていると思うがどう考えているか、労研所長任命に関する所員よりの要請書をどう考えているか、

村本委員(社)より、総務部では労研強化の方向に進んでいるのかどうか、労研の研究資料を道で十分活用できないというのはどういうわけか、労研の調査研究は労働より広い分野にわたつて行なうのが適当か、ま

たは従来のごとく専門的分野に限つて行なうのが適当が、調査研究の終つたものにはどのようなものがあるか、労働部長が所長を兼務しているのは特別の意味があるのか

等について質疑及び意見があり、労働部長より答弁、ついで

千葉(大)委員(社)より、労研の所長を長期にわたつて欠員にしておくのは道の行政上適切でない、また条例制定の趣旨にも反するのですみやかに所長をおくべきとの結論を本委員会でもだしてもらいたい旨の発言があり

暫時休憩して協議の結果、12日の委員会で態度を決定することとした。

- ② 千葉(大)委員(社)より、旭川における北斗ランプの争議問題に関連し、争議が起つた場合、道ではどのような時に間に入り指導するか、労働相談員に対する相談について件数の地域別内訳について資料提出方について質疑、要望があり、労働部長より答弁。

○6月12日 午前10時55分、各派交渉室において開議、午後零時11分散会、委員長事故のため副委員長伊藤作一(自民)

一般議事

- ① 労働科学研究所長兼任の問題並びに労働相談員の利用状況について、労働部長、労政課長より説明を聴取の後、

村本委員(社)より、労研の機構改革における基本構想はどうか、労研の強化について労働部としての資料を提示しているか、研究成果についての報告書はどうしているか、中小企業の労働問題の研究課題は何か、女子労働者に関する一昨年の労基法違反件数はどのくらいか、

森川委員(社)より、工鉱業振興計画に関連して工鉱業における労務管理の研究の必要性を知事に強調しているか、

千葉(大)委員(社)より、労働相談員の相談件数は当初考えていたものと比較してどうか、相談員の業務処理内容について資料提出方、労研次長は機構改革を前提に資料を収集し検討せよということで発令になつたのではなかつたか、労研職員の所長兼任に対する考えはどうか、また労政課ではどう考えているか、労研に専任所長を条例の趣旨に基づいて置くことについて委員長において善処してもらいたい

こと等について質疑、意見及び要望があり、委員長より応答、労働部長、労政課長より答弁。

- ② 委員長より、次回委員会開催について諮り、6月14日に開くこととした。

○6月14日 午前11時17分、第3委員室において開議、午後1時46分散会、委員長事故のため副委員長伊藤作一(自民)

一般議事

- ① 労働科学研究所長兼任の問題に関し、

千葉(大)委員(社)より、労研次長は発令の時に労働部長が所長兼任となつている理由について聞いているが、前労働部長が兼務発令になつたのはいつか、兼務の発令以降、予算はどのようなかたちで要求したか、また研究テーマをどのように設定し審議していたか、研究テーマについて知事より与えられたもの、労研自体で選んだものについてその経過を明らかにする資料の提出方、

村本委員(社)より、予算要求の時の研究テーマはどのようなものか、研究報告書の発行部数及び配布先はどうなつているか、労働部は労研を強化する考えか

についてそれぞれ質疑、意見及び要望があり、労働部長、労研次長より答弁。

- ② 新設の観光課の業務内容について商工部長より説明を聴取の後、

千葉(大)委員(社)より、観光連盟との関係はどうか、道の文化財に指定された場所に行く道路の整備はどこで行なうか、観光連盟の中に他の庁の関係者は入っていないか、また開発局も入っているか、観光連盟の強化が北海道観光振興に関する総合対策の中に入っているか、観光道路を作る時の陳情の取扱いはどこか、

村本委員(社)より、観光連盟の運営費はどうなつているか、観光情報の郵送料は発送もとが商工部であるがどうなつているのか、観光課及び電気事業課の新設についてその業務計画並びに方針を提示しないのは何故か、農山漁村の電気導入のその後の経過はどうなつているか

等について質疑、意見及び要望があり、商工部長より答弁。

- ③ 中小企業木工団地の問題に関し、

千葉(大)委員(社)より、札幌木工センター造成が新聞に発表されているが、国及び道の予算はどうなつているか、6月議会には間に合はないと思うが、道は予算を出すのか、札幌市に木工団地を作るということで予算要求しているのか、小樽市、旭川市の木工団地に対しても診断を行なうのか、札幌市だけで診断させるのはどうしてか、木工団地計画提出の指示は各地に出したか、各地の計画書提出及び申請の手続について適切な指導を欠いたのではないか、

村本委員(社)より、申請期限の通知がきたのはいつか、この通知があつてどのような措置をとつたか、計画書提出について更に支庁に指示したか、旭川市の場

合はどうかしているか

こと等についてそれぞれ質疑、意見及び要望があり、商工部長、工鉱業課長より答弁。

- ④ 森川委員(社)より、次回委員会に北海道空港株式会社の発起人と事業計画に関する資料提出方について要望あつた。

○6月21日 午後1時15分、第2委員室において開議、午後3時36分散会、委員長事故のため副委員長 伊藤作一(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第402号 千歳市の北海道空港ターミナル・ビル建設に対し出資の件 (保 留)

一 般 議 事

- ① 木工団地計画の問題に関し商工部長、工鉱業課長より説明を聴取の後、

千葉(大)委員(社)より、地元市町村ではそれぞれ計画を検討中とのことであるが道は基本構想を示しているか、次回委員会において道で札幌市の木工団地を取り上げた経過と6月16、17日に行なわれた中小企業庁のヒヤリングの内容を明らかにしてもらいたい

ことについて質疑、意見及び要望があり、工鉱業課長より答弁。

- ② 村本委員(社)より、観光課ではどのようなものを宣伝に使っているか、商工要覧は何部発行しているか、金額はどの位か、広告料が入っているか、

五藤委員(社)より、電気事業について農務部所管のものも商工部の所管になったのか

、等についてそれぞれ質疑があり、商務課長、電気事業課長より答弁。

- ③ 労研所長兼任の問題に関し、前回委員会における千葉(大)委員(社)の質疑並びに村本委員(社)より要求のあつた資料について労研次長より、説明を聴取の後、

千葉(大)委員(社)より、労研の全予算のうち設備費等は何%くらいか、旅費はどう見込まれているか、労研の予算は労働部長が実質的に査定するのか、36年度予算要求で労研が必要とするものについて削られたものは何か、所長は毎年事業計画書を知事に提出しなければならないが、これは予算要求のとき出すのか、研究調査の知事への報告はどのようにして行なわれていたか、35年度の報告についての資料提出方、昭和34年3月14日、総務部長から各部課長に出された通達は労研も含まれるか、この通達の真意をどう考えるか、

村本委員(社)より、労研の事業計画がまだでないのはどうしてか、研究と機構改革は関係ないか、機構改革に対する部内の結論はいつでるか、総務部長との話合いの一致点は何か、労働基準法違反が多いが道とし

てどのような指導を行なっているか

こと等についてそれぞれ質疑、意見及び要望があり、労働部長、労研次長、職業安定課長より答弁。

- ④ 委員長より、次回委員会開催について諮り、明22日に開くこととした。

○6月22日 午後3時、第3委員室において開議、午後4時5分散会、委員長事故のため副委員長 伊藤作一(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

第402号 千歳市の北海道空港ターミナル・ビル建設に対し出資の件 (保 留)

一 般 議 事

- ① 労働科学研究所長兼務の問題に関し労働部長より説明を聴取の後、

千葉(大)委員(社)より、委員長は文書をもつて専任所長の発令を行なうよう知事に申し入れをしてもらいたい旨の要望があり、副委員長より応答。

- ② 宮沢委員(社)より、浴湯料金値上げがまた問題となつているが業者から請願があつたか、先般の料金値上げ後の経過はどうか

について質疑及び要望があり、商工部長より答弁。

- ③ 本日聴取した陳情は次のとおり。

千歳市の北海道空港ターミナル・ビル建設に対し出資の件 千歳市助役

○6月26日 午後1時36分、第2委員室において開議、午後2時40分、一旦休憩の後、再開にいたらず流会、委員長事故のため副委員長 伊藤作一(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第402号 千歳市内北海道空港ターミナル・ビル建設に対し出資の件 (保 留)

農 務 委 員 会

○6月12日 午後1時17分、第3委員室において開議、午後1時32分散会、委員長 二瓶栄吾(協)

一 般 議 事

- ① 笠井小委員長より、農開協組織整備対策に関する連合小委員会の報告があり、

委員長より、農開協組織整備対策に関する意見案及び決議案を次期本会議に提出することについて諮り、異議なくそのことに決定、その取扱いについては委員長一任とした。

- ② 委員長より、渡部委員(社)より要求のあつたてん菜生産者価格に関する資料の提出があつた旨を報告。
- ③ 菅田委員(社)より、自創資金の配分について道分は1号から6号までであるがどうなっているか、償還期限について農業団体との会合で20年を25年にするという方針がでているがこれほどことから話をだしたのか、また20年とした場合と25年とした場合の比較についての資料提出方等について質疑、意見及び要望があり、農務部長より答弁。
- ④ 委員長より、次回委員会開催について語り、日時については委員長一任とした。

○6月22日 午後1時50分、第2委員室において開議、午後6時3分散会、委員長事故のため副委員長桶谷利男(自民)

一般議事

- ① 委員長が欠席したことについて菅田(社)、笠井(社)各委員より発言があり、副委員長より応答。
- ② てん菜生産者価格に関する資料について畑作園芸課長より説明を聴取の後、堀野委員(民社)より、農業団体がトン当たり6,000円を算定した時は協議に参加していたか、5,400円位というのは委員の中央折衝が終つてから農林省と交渉したのか笠井委員(社)より、てん菜減収の原因は気象条件だけであるか、今後反収が減つてもてん菜耕作面積を拡大して行くのか、農業団体の要求価格を道であまり国に対し強調していないようだが農産物価格安定対策として道はこの問題のどこに中心を置いて考えているか等について質疑、意見及び要望があり、農務部長、畑作園芸課長より答弁。
- ③ 昭和36年産米価問題に関し笠井委員(社)より、本年産米価について道としてどのような見通しにたつているか、農民団体の要求米価をどう考えているか、農業基本法とも関連して道の特殊性を加味した農業経営を行う上における価格をどう考えているか、全国統一米価に替成して道の要求米価は下げたのか、道で米作農家の実態に基づいて価格を算定したものはないか、米質改善の問題に対する基本的見解はどうか、品質の基準はどこにあるのか、中間業者が道産米をボイコットしているのではないか、奨励品種について反当収量別の資料提出方について質疑、意見及び要望があり、農務部長より答弁。
- ④ 自作農維持創設資金の問題に関し菅田委員(社)より、貸付限度額はまだ発表されないのか、貸付総枠は農林省においてすでに決定している

のではないか、農林省の調査内容を副知事はどのように把握しているか、副知事に出席してもらいたい、こと等について質疑、意見及び要望があり、農務部長より答弁。

副委員長より、副知事が出席するまで本問題を保留する旨を述べ、ついで

- ⑤ 第2回定例会に提案予定の農務部関係追加予算案の大要並びに今国会で廃案となつた農業関係法案に対する暫定措置について農務部長より説明を聴取。
- ⑥ てん菜製糖工場設置問題に関し、堀野(民社)、岡田(社)各委員より、この問題に関する中央の状況はどうなっているかについて質疑があり、農務部長より答弁。
- ⑦ 農作物の生育状況について農業改良課長より説明を聴取。
- ⑧ 副委員長より、副知事は都合により本日は出席できない旨を述べ笠井委員(社)より、自創資金の問題に関し、中島副知事が東京事務所発言したことに対し部長は責任を持てるか、菅田委員(社)より、明日の委員会に副知事を出席させてもらいたいこと等について質疑、意見及び要望があり、委員長より応答、農務部長より答弁。
- ⑨ 副委員長より、次回委員会は明23日に開き、副知事の出席を求めたい旨を述べた。

○6月23日 午後2時、第2委員室において開議、午後4時53分散会、委員長 二瓶栄吾(協)

一般議事

- 委員長より、昨日に引き続き農家負債整理対策に関する件について審議する旨を述べた後、笠井(社)、菅田(社)の各委員より、昨日の委員会に副知事が出席しなかつたことに関し質疑があり、副知事(中島)、農務部長より答弁の後、暫時休憩、午後2時15分再開、菅田委員(社)より、5月17日開催の農家負債整理対策連合小委員会において本件に関し知事に申し入れを行なうことになつているがその後の事情はどうなつているか、まだ回答がないといことは内容が不備なためか、D階層に対しては解決するということで調査しているのかこと等について質疑があり、委員長より応答、副知事(中島)より答弁、午後2時30分一旦休憩(休憩中、菅田委員と農業会議会長との間に質疑応答があつた。)午後2時45分再開、菅田委員(社)より、自創資金本道枠27億で折衝している経緯及び27億円になぜなつたのか、D階層農家に

対する対策はどうか、条件緩和についてはあきらめたのか、D階層分9億円は資金の対象となるのか、その法的根拠を示されたい、D階層農家とはどういう農家か、農林漁業金融公庫資金は貸してもらえるか、自創資金枠37億円からD階層農家を除いた27億円を折衝のテクニクとしてやるのか、またD階層は自創資金の対象とならないとして自立更生策を講じようとするか、実態調査の結果、負債総額について農林省は本当にわからないのかどうかさきの農家負債整理連合小委員会が副知事は本年度からは条件緩和なくして30億以上消化することは不可能と答弁しているがこれについて現在副知事はどのように思うか、37億円が27億円に、また償還期限20年を25年とすることについて本委員会に何らことわつていないがどう考えるか、貸付限度額30万円を40万円にすることについては大丈夫というが間違いないか、

笠井委員(社)より、D階層農家については道の措置を講じるということで保留したのかどうか、

堀野委員(民社)より、ビート糖工場新設問題に関して、知事はホクレンに許可するよう要望してきたと新聞報道されているが、この問題はどうか、ホクレン農民組織である関係から優先するというのか、てん菜作付計画を改訂する必要があると思うがどうか、関連して

岡田委員(社)より、道は重大な局面に追い込まれていると新聞報道されているが、運動してきたのかどうか、

石畑委員(自民)より、農山漁村電化事業費補助金の交付について速やかに事務処理をされたい

こと等について質疑、意見及び要望があり、副知事(中島)、農務部長、農政課長より答弁。

○6月27日 午前11時20分、第3委員会において開議、午後3時散会、委員長 二瓶栄吾(協)

請願、陳情の審査

請 願

第128号 池田町に甜菜製糖工場設置の件 (採 択)

第463号 網走市に製糖工場設置の件 (採 択)

陳 情

第39号 甜菜耕作奨励対策の件 (採 択)

第60号 甜菜製糖工場建設計画検討の件 (採 択)

第61号 富良野町に甜菜製糖工場新設の件 (採 択)

第64号 清水町に甜菜製糖工場設置の件 (採 択)

第70号 由仁町に芝浦甜菜糖工場設置の件

(採 択)

第74号 芽室町に名古屋甜菜糖工場設置の件

(採 択)

第87号 浦幌町に大阪甜菜精糖工場設置の件

(採 択)

第97号 甜菜耕作の振興及び甜菜精糖工場新設の件 (採 択)

第137号 本別町に甜菜糖工場設置の件 (採 択)

第141号 由仁町に甜菜糖工場設置の件 (採 択)

第166号 十勝管内における甜菜耕作振興の件 (採 択)

第248号 美瑛町に甜菜製糖工場新設の件 (採 択)

第249号 十勝管内にホクレン甜菜糖工場設置の件 (採 択)

第250号 ホクレン甜菜製糖工場を十勝西北部地域に設置の件 (採 択)

第251号 幕別町に日新製糖工場設置の件 (採 択)

第269号 由仁町に芝浦製糖工場設置の件 (採 択)

第331号 清水町にホクレン甜菜製糖第二工場設置の件 (採 択)

第366号 芽室町に名古屋製糖十勝西部工場設置促進の件 (採 択)

第367号 十勝地方ビート工場設置認可の件 (採 択)

第662号 十勝岳山ろく地区に甜菜製糖工場設置の件 (採 択)

○6月9日 午後1時40分、第3委員室において農開協組織整備対策連合小委員会を開議、午後2時10分散会、連合小委員長 笠井幸衛(社)

① 黒松委員(協)より、農業協同組合併助成法のなかに関協も含まれているかどうか、

笠井連合小委員長より、補助率等についての規制はどうか等について質疑があり、農務部長より、答弁。

② 笠井連合小委員長より、農開協整備対策問題に関する意見案並びに決議案作成の方法について諮り、農務、農開の両小委員長及び両委員会から一名づつ起草委員を選出して行なうことに異議なく決定。農地開拓委員から尾崎委員(自民)、農務委員から樋口委員(自民)がそれぞれ選出された。

○6月10日 午前11時57分、第3委員室において農開協組織整備対策連合小委員会を開議、午後零時15分散会、連合小委員長 笠井幸衛(社)

① 起草委員会で作成された農開協組織整備対策問題に

関する意見案及び決議案について大石小委員長より、一部修正について説明があり、これを諮り異議なくそのように修正して農務、農開両委員会に報告することに決定。

建設委員会

○6月7日 午前11時40分、第1委員室において開議、午後5時20分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

請願、陳情の審査

請 願

- 第132号 剣淵村下川町間町村道を道道に認定の件 (保 留)
- 第179号 木糖工場操業に伴う工場廃液浄化措置の件 (不採扱)
- 第194号 新得足寄間鉄道新設促進要望の件 (採 扱)
- 第226号 三石町地内町費河川咲梅川を道費河川に認定の件 (採 扱)
- 第244号 古平町地内冷水川を準用河川に認定の件 (採 扱)
- 第253号 根室市落石厚床間道路新設の件 (保 留)
- 第264号 釧路村地内道費河川チヨロベツ川氾濫防止工事施行の件 (採 扱)
- 第287号 道費当麻停車場線整備工事施行の件 (採 扱)
- 第291号 山部村地内14線川を道費河川に認定の件 (採 扱)
- 第295号 中川村地内秋田川宇戸内川を道費河川に認定の件 (不採扱)
- 第297号 十勝岳産業開発道路開さくの件 (保 留)
- 第299号 上富良野町地内町道東二条道路を道道に認定の件 (採 扱)
- 第304号 鷹栖村地内町費河川ハイシユベツ川を道費河川に認定の件 (不採扱)
- 第310号 東川町道西4号線架設神明橋架換に対し補助の件 (採 扱)
- 第311号 東川町地内サルン倉沼川を道費河川に認定の件 (採 扱)
- 第322号 美深町地内町道紋穂内停車場線を道道に認定の件 (採 扱)
- 第323号 美深町地内4町費河川を道費河川に認定の件 (保 留)
- 第345号 富良野町地内町道東5条線空知川に架設の東5条大橋を永久橋に架換の件

(保 留)

- 第360号 鷹栖村10線12号を起点とし比布村北2線7号に至る村道近文街道を道道に認定の件 (保 留)
 - 第361号 紋別市地内道道名寄紋別港線の一部線路変更の件 (採 扱)
 - 第366号 別海村地内村道茶内、西春別線を道道に認定の件 (不採扱)
 - 第367号 別海村地内村道西別浜中線を道道に認定の件 (保 留)
 - 第368号 別海村地内村道西春別尼岱沼港線を道道に認定の件 (採 扱)
 - 第376号 寿部町地内町道湯別停車場線を道道に認定の件 (保 留)
 - 第387号 沼田町及び北竜村地内町村道梅の沢線及び奥美葉半一線を道道に認定の件 (保 留)
 - 第388号 道道昭和恵比島停車場線中浅野市街地側溝工事施行の件 (採 扱)
 - 第412号 岩内町地内道道岩内港線の路線1部変更の件 (採 扱)
 - 第413号 北見市地内小町川を準用河川に昇格の件 (保 留)
 - 第425号 門別町地内道道富川停車場線舗装工事施行の件 (採 扱)
 - 第426号 静内町地内町費河川門別川を準用河川に認定の件 (保 留)
 - 第429号 江別町地内うぐい川を道費河川に昇格方並びに改修工事施行の件 (保 留)
 - 第430号 江差町地内厚沢部川改修計画拡張の件 (採 扱)
 - 第431号 函館般法華森港線を二級国道に認定要望の件 (採 扱)
 - 第442号 昭和36年度道費関係土木建築工事早期発注の件 (採 扱)
 - 第447号 土地収用法改正反対要望の件 (不採扱)
 - 第448号 村道留寿都村、真狩村及び洞爺村循環道路を道道に昇格の件 (保 留)
- 陳 情
- 第257号 滝川、赤平、砂川、歌志内間道路を道道に認定の件 (保 留)
 - 第393号 苫前町地内町費河川チエボツナイ川を道費河川に認定の件 (不採扱)
 - 第426号 道道幌加内、旭川線中一部路線変更の件 (不採扱)
 - 第465号 東鷹栖村地内村道十線道並びに16号道の1部を道道に認定の件 (保 留)
 - 第487号 函館港野木場の早期構築に関する件

- (採 択)
- 第 512 号 ビート糖工場の廃液処理施設完備の件
(採 択)
- 第 525 号 町道七飯、大野、上磯線路工事に対し国
庫補助の件 (採 択)
- 第 565 号 国立公園有珠山に観光道路開さくの件
(採 択)
- 第 578 号 礼文町地内町道大備東上泊間及び大備西
上泊間を道道に認定の件 (採 択)
- 第 589 号 国鉄日勝線全線敷設促進要望の件
(採 択)
- 第 592 号 恵庭町に低家賃住宅建設の件 (採 択)
- 第 613 号 市町村道整備に対し道費助成増額の件
(採 択)
- 第 614 号 道路愛護奨励事業強化推進の件
(採 択)
- 第 615 号 恵庭町道及び林道恵庭支笏湖線を道道に
認定の件 (採 択)
- 第 616 号 恵庭町地内町道島松大通り線を道道に認
定の件 (採 択)
- 第 626 号 冬期における道道の除雪完全実施の件
(採 択)
- 第 627 号 歌登村地内道道常盤線並びに同道道乙忠
部中頓別線舗装工事施行の件 (採 択)
- 第 633 号 松前町地内町道松前駅前通り及び同弁天
通りを道道に認定及び改良工事施行の件
(採 択)
- 第 634 号 松前町地内町道市渡線を道道に認定及び
改良工事施行の件 (不採択)
- 第 641 号 松前町地内町道江良港臨港線を道道に認
定の件 (保 留)
- 第 642 号 町道間寒別線を道道に認定の件
(採 択)
- 第 643 号 道道豊富遠別線雄信内大橋の架換工事施
行の件 (採 択)
- 第 646 号 釧路村昆布森地内道道釧路昆布森線改良
工事施行の件 (採 択)
- 第 648 号 市町村費支弁河川改修に対し国庫補助要
望の件 (採 択)
- 第 651 号 稚内市潮見川を準用河川に認定の件
(保 留)
- 第 652 号 稚内市大黒川を準用河川に認定の件
(保 留)
- 第 653 号 稚内市緑川を準用河川に認定の件
(保 留)
- 第 666 号 白老町管内各河川より他管内への取水計
画に対し事前合議の件 (不採択)
- 第 668 号 室蘭市地内道道黄金鷲別線改良工事早期

- 完成の件 (採 択)
- 第 669 号 釧路村所在昆布森漁港区域内の海岸保全
事業施行の件 (採 択)
- 第 674 号 室蘭港に外港築設要望の件 (採 択)
- 第 686 号 道道上磯、亀田湯の川線改良工事施行の
件 (採 択)
- 第 687 号 亀田村地内準用河川亀田川の改修工事施
行の件 (保 留)

一 般 議 事

① 委員長より、札幌土木現業所管内における砂利採取等の現地調査を行なうことについて諮り、異議なくそのことに決定。午前11時40分一旦休憩して現地調査を行ない午後2時26分再開。

② 遠藤委員(社)より、道内各地の砂利採取等現地調査の経過について報告があり異議なくこれを了承。

竹内委員(社)より、この調査結果について各党より代表者を出し結論を出してはどうかについて発言があり、これを諮り、自民、社会両党より各2名、協同党1名の代表者を出すことに決定。なお、代表者には休憩中協議の結果、奈良(自民)、奥野(自民)、坂下(社)、竹内(社)、池田(信)(協)各委員が選任された。

③ 坂下委員(社)より、工事の測量設計は前年度又はそれ以前になされるべきであるがどのようになっているか、測量のための出張旅費は安い現場監督と同じ扱いではないか、工事費における人夫賃の積算基礎は最近の状況に適応したものであるか、また単価はいくらか道で測量設計を民間に発注していないのはどうか、土木現業所職員1人当り事業量の現状をどう考えているか、河川地域に開拓地のある場合河川改修計画と開拓計画は平行すべきであるかこれについて関係各部との連携はどうか、用地取得が未決定のまま工事発注が行なわれたり発注しても測量ができていなかつたという事例はないか、工事発注以前に業者が現場に飯場をたてていることがあるかどうか、工事発注に際し難工事と簡単な工事を抱きあわせて行なうようなことはなかつたか、土現の工事発注が片寄つていることに関連して土現所長の配置に対する見解はどうか、団地、立木の補償費は国の基準で算定していると思うが、これで買収が適切に行なわれているか、

斎藤(正)委員(社)より、建設関係協同組合との請負契約に対する見解はどうか、

竹内委員(社)より、用地の補償問題について現在道道であるがこの一部を私有地として専用している場合補償はどうか、

池田(信)委員(協)より、道路工事単価の値上りにより工事が難になるということはないか

等についてそれぞれ質疑、意見及び要望があり、土木部長、住宅課長より答弁。

○6月12日 午後2時11分、各派交渉室において開議、午後2時22分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

一般議事

① 遠藤委員(社)より、北海道普通河川(適用準用河川敷地内を含む。)及び堤防敷地における産物採取等許可及び使用実施状況調査の件に関する起草委員会の調査意見の結果について報告があり、これを本委員会の調査の結論とすることについては、異議なくそのことに決定。なお報告書の案文は委員長一任とした。

○6月24日 午後2時15分、第1委員室において開議、午後3時26分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

付託案件の審査

① 議案第1号ないし第5号(工事請負契約の締結に関する件)を一括議題に供し、土木部長、建築部をより説明を聴取の後、

斎藤(正)委員(社)より、指名業者名及び落札の経過並びに議案第4号の新三菱重工株式会社の法人税等の内容はどうなっているか、姉妹会社である三菱商事(株)札幌支店と本契約を結ぶようになっているが、このような商行為ができるのか、本契約をすべき相手方は新三菱重工(株)でなければならないと考えるがどうか、

竹内委員(社)より、新三菱重工(株)と三菱商事(株)札幌支店とはどちらが正式の契約者か、代理店が契約することはおかしいのではないかと、

荒 委員(社)より、三菱商事(株)の定款を資料要求したい

こと等について質疑があり、土木部長、建築部長より答弁の後、暫時休憩、午後3時40分再開、

土木部長より、休憩前の各委員の質疑に対し一部答弁を保留した事項について答弁があつた後、

斎藤(正)委員(社)より、三菱商事(株)は土建請負登録業者であるかどうか、契約について新三菱重工と三菱商事との間にどのような話し合いが行われたか、また道はどのように確認したのか、このような契約の姿でよいものならばその法的根拠を示されたい、新三菱重工(株)が落札者でなければならないが、この委任形態をどの程度まで認められるのか、新三菱重工(株)が名義人でなければならないのに三菱商事(株)と契約することは資格者でないものと契約することになり行政上の誤まりではないのか、

竹内委員(社)より、工事請負規則第4条第2項の規定に抵触するのではないかと

こと等について質疑があり、土木部長より答弁。

② 委員長より、本日の議事はこの程度にとどめ、明後26日午前10時より委員会を開くことについて諮り、異議なくそのことに決定。

○6月26日 午後5時20分、第3委員室において開議、午後6時27分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

付託案件の審査

① 委員長より、一昨日に引き続き付託議案の審査行なう旨を述べ、ついで議案第4号(工事請負契約の締結に関する件)の内容一部訂正の件について承認することに決定の後、

竹内委員(社)より、仮契約の段階で工事の着工はできないと思うがどうか、工事現場の監督員配置はどのような形で行なわれているか、5, 6千万円以上の大きな工事については常時監督員を配置しているのか、議案第1号の道道札幌夕張線広島村地内舗装新設工事の実態について現地調査したところ、すでに議会の議決前に一部着工している事実が明らかとなつたが、部長はこのことについて関知しているか、工事着工は土現の了解のもとで施行したかまたは業者が勝手に施行したものか、工事現場では改良掘中工事の標識が立っており、改良工事とあわせて舗装工事をやっている姿は正しいものではないと考へがどうか、議決前に着工した違法行為の責任所在はどこか、関連して、

坂下委員(社)より、本契約前に業者が飯場を作ることはよくない、責任の所在をどのようにするのか、また今後どのように対処する考へか、

奈良委員(自民)より、従来からこのような慣習が行なわれ今日に至つたものとすればこの悪習慣を速かに是正すべきであり、また反面住民の要望に応え早期に工事を完成することで実害のないことなども考へてやるべきである、

荒 委員(社)より、規則を無視して工事を強行する業者の処分をどのように行なう考へか、このような事情を知らず着工するような不良業者に今後工事をやらせる考へかどうか、現段階において現地調査を行なう必要があると思うので委員長ははしかるべく取計らわれたい

こと等について質疑及び意見があり、土木部長より答弁があつて暫時休憩後、午後6時11分再開、

② 委員長より、休憩中協議のとおり議案第1号ないし第5号に関し明27日現地調査を行なうことについて諮り、異議なくそのことに決定。

③ 斎藤(正)委員(社)より、日本道路(株)は舗装専門の業者であり、他の改良工事等は一般業者にやらせるべきであり、また請負のやり方についても問題があり、このような業者には半年位契約しないほうがよいのではないかと、

坂下委員(社)より、競争入札に付されない前に業者が決まるということはあり得るか、決まる前に業者が小屋掛をやるという姿は業者と現業所とのなれ合ではないのか、この真相を至急調査されたい

こと等について質疑及び意見があり、土木部長より答弁。

- ④ 委員長より本日の議事はこの程度にとどめ、明27日午後1時より委員会を開くことについて諮り、異議なくそのことに決定。

○6月27日 午後3時51分、第1委員室において開議、午後4時32分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

付託案件の審査

- ① 遠藤委員(社)より、議案第1号ないし第5号に関する現地調査の経過について報告の後、委員長より本調査に対する理事者の見解を求め、土木部長、建築部長より説明を聴取。
- ② 荒 委員(社)より、法規違反のものに対してはどのように取り扱うのか、このような事態を起したことにについて紀律保持及び綱紀粛正の見地から処分をすべきでないか、これら責任の範囲はどのようになっているか、またいつまで調査をし処分を行なうか
について質疑及び意見があり、土木部長、建築部長より答弁。
- ③ 委員長より、本日の議事はこの程度にとどめ、明28日午前10時より委員会を開くことについて諮り、異議なくそのことに決定。

○6月28日 午後5時58分、第1委員室において開議、午後5時14分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

付託案件の審査

- ① 委員長より、昨日に引き続き議案第1号ないし第5号について審議する旨を述べた後、土木部長より、道道札幌夕張線 広島村地内 舗装 新設 工事の経過について、建築部長より札幌西高等学校校舎改築第二期工事の経過についてそれぞれ説明聴取の後、
竹内委員(社)より、今次事態の経緯を明らかにし関係者及び業者に対して厳重な処置を講ずること、議決前執行を厳禁するため、関係規則の内容を補完する等必要な措置を講ずること、関係者及び業者に対して法令規則を徹底させ、これを厳守するよう指導すること、本道の特殊な立地条件等を充分考慮し、特に議会の議決を得る工事の施行については早期に着工できまよう必要な措置を検討すること等について理事者に強く要請し、また委員長報告文にも要望意見として挿入することに同意議決とするよう取り扱われたい
ことについて意見及び要望があり、委員長より竹内委員(社)の意見のとおり取り扱うこととし同意議決とすることに決定。
- ② 報告第4号(工事請負契約の締結につき承認を求めると)ないし同第7号を一括議題に供し、建築部長、土木部長より説明を聴取の後、

竹内委員(社)より、報告第5号の道路改良事業の用地問題が未解決と聞くがその後どのようになっているか、入札の前にある業者が仮場を作ったというのが部長の見解はどうか

について質疑があり、土木部長より答弁があつて異議なく承認議決とすることに決定。

- ③ 委員長より、委員長報告案文については理事会に一任することについて諮り、異議なくそのことに決定。

農地開拓委員会

○6月6日 午前11時16分、第3委員室において開議、午後3時12分散会、委員長 堀田 毅(自民)

一般議事

- ① 大石小委員長(社)より、農開協組織整備対策案の作成に関しその後の経過について報告があり、
山田委員(社)より、農務、農地開拓両委員会でこれを承認して次の新委員会にまかせるのか、
について質疑があり、大石小委員長より政府及び知事に対する要望事項を抽出して次の委員会に引継ぎたい旨を述べ異議なくこれを了承。
- ② 新開拓制度方式に関する資料について開拓計画課長より説明を聴取の後、
橋本(正)委員(社)より、36年度の開拓パイロット事業は新方式でやるのか、地元はこれも納得しているか、
国営パイロット事業の地区決定があつたか自己資金等について見通しがたつたのか、今後国営事業は20%の自己負担となつたが、道との関連において不合理ではないか、
山田委員(社)より、パイロット事業着手にあたり営農類型をどうするかについての研究資料があれば提出してもらいたい
こと等について質疑、意見及び要望があり、開拓計画課長より答弁。
- ③ 新開拓制度方式に対する道の要望書について農地開拓部長より説明を聴取の後、
橋本(正)委員(社)より、新規入殖の営農はどうなるか、開拓事業における自己負担分は事前に出すのか、農業構造改善の基本構想を農務部と打合せして明らかにしてもらいたい、
恵庭の開拓事業所が閉店休業の状態でどうするか、
山田委員(社)より、自立経営農家を作るのにどのような営農類型で行なうか、
清水委員(社)より、この要望書作成に際し、委員会の意見をぎかなかつたのはどうしてか、
大石委員(社)より、この要望書についてもつと具体的な説明をしてもらいたい、

尾崎委員(自民)より、国営開拓パイロット事業地区の青写真ができていないか、パイロットファームと異なる点はどこか、これの具体的計画はどうか、この計画はどうか、この計画はどうか、この計画はどうか

等について質疑、意見及び要望があり、農地開拓部長、開拓計画課長より答弁。

- ④ 不用地 返還問題に関し 農地課長より 説明を 聴取の後、

尾崎委員(自民)より、開拓不用地のうち農家林として利用されるものはほとんどか、旧国有林ということであるがその大部分は林務部の農家林計画の対象になるのか、国有未開地で利用計画にのらない残りのものは農家林として利用するのか、

橋本(正)委員(社)より、離農者数とこのうち他に再入殖した者はどの位か、

大石委員(社)より、緊急増反の中に開拓農家既有農家の両方が含まれているのか、

委員長より、保安林を解除しないで売却しこれを不用地として返還することに関して林務部と紛争があったのか、

清水委員(社)より、離農希望者が3,000戸あるとのことだがこれに対する予算措置をどうするか

等について質疑、意見及び要望があり、農地開拓部長、農地課長より答弁。

- ⑤ 委員長より、次回委員会開催について諮り、6月12日に開くこととした。

○6月12日 午前11時30分、第3委員室において開議、午後零時13分散会、委員長 堀田 毅(自民)

一般議事

- ① 大石小委員長(社)より、先般開かれた農開協組織整備対策連絡小委員会の経過について報告があり、農開協組織整備対策案の成文は新委員会でもとめ農務、農開両委員長が相談して提案する旨を述べ、これを諮つて異議なくそのことに決定。

- ② 前回の委員会でも要求のあつた新開拓制度方式に関する資料について農地開拓部長、開拓計画課長より説明を聴取の後、

清水委員(社)より、全道の地帯別営農類型について想定程度のものも出せないか、新開拓制度方式に対する部長の所見はどうか、

尾崎委員(自民)より、国営パイロット事業地区概要にある入植及び増反戸数と今年の入植戸数との関係はどうか、また償還金の内訳はどうか

こと等について質疑、意見及び要望があり、農地開拓部長より答弁。

委員長より、この資料に対する質疑は次回委員会で行なうこととし、本日は説明聴取のみとすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

- ③ 委員長より、次回委員会開催について諮り、6月14日に開くこととした。

- ④ 委員長より、6月20日に開かれる北海道開発審議会農林水産小委員会に中央状態把握のため委員を派遣することについて諮り、異議なくそのことに決定。派遣委員等については次回委員会の結果をみて決めることとした。

○6月14日 午前11時10分、第2委員室において開議、午後2時26分散会、委員長 堀田 毅(自民)

一般議事

- ① 新開拓制度方式に関する資料について総務課企画係長より説明を聴取の後、

清水委員(社)より、営農類型において所得を70万円と想定しているが、100万円とすべきでないか、災害があつた時の事も考えているのか、70万円の所得では開拓者資金の償還がむずかしいのではないかと、基幹工事は国が全部負担すべきでないか

等について質疑、意見及び要望があり、農地開拓部長より答弁。

- ② 国営パイロット事業地区の所要資金について総務課企画係長より説明を聴取の後、

尾崎委員(自民)より、携行資金について開発局との連携がとれていないのではないかと、生まれた牛が社であるという不運も計算に入れているか、開拓者資金で行なうというが、資料では農林漁業金融公庫の融資及び農業近代化資金で行なうとなつてはどうか、

清水委員(社)より、この事業を道は国に對しどのような補助率、融資及び何年の償還でやるという考えているか、建売方式は共同化の時に障害とならないか、

山田委員(社)より、開拓制度方式検討資料において想定する営農第1類型一戸当り総事業費の内訳でその他が80万円とあるがこの内容は何か、また入植施設の113万円は少なすぎるのではないかと、

橋本(正)委員(社)より、道の開拓はこうすべきであるという率直な資料を出してもらいたい、6月19、20日の北海道開発審議会農林水産小委員会に要望したのでその前に検討する機会を作ってもらいたい

大石委員(社)より、前に出した要望書は改めねばならないと思うので検討してもらいたい、

道下委員(社)より、前の開発審議会では開拓制度方式についてあまり論議されていないので次回は道の要求を十分述べてもらいたい

こと等についてそれぞれ質疑、意見及び要望があり、農地開拓部長総務課企画係長より答弁。

- ③ 委員長より、6月20日の開発審議会農林水産小委員会に委員を派遣することについて諮り、異議なくその

ことに決定、派遣委員については委員長一任とした。

水産委員会

○6月2日 午後2時40分、第3委員室において開議、午後5時20分散会、委員長 麻里悌三(自民)

一般議事

① 北方地域見舞金法案について漁政課長より説明を聴取の後、

窪田委員(社)より、生活資金はどの機関で扱うのか、厚生省で取扱っている生活資金との関係はどうか、北方協会の事業計画はどのようにして立てるか、生活資金計画は1,000万円を限度として行なうか、また一件あたりの限度額はいくらくらいか、

榎委員(社)より、困難者に対する融資はどうか、北方協会の役員構成についてどう考えているか、秋山委員(自民)より、年6分の利子返済は可能か、川村委員(社)より、10年過ぎると北方協会に現金で10億円くれるというが協会はこの現金をどう扱うか、北方協会独自の事業を行なうのか、

中松委員(自民)より、主な事業は貸付となるか、受益対象者は評議委員会で決めるのか、貸付に際し漁協組を通じて個人に貸付する場合の行政指導はどうか、

阿部副委員長(自民)より、6,000万円の利子運用に巾をもたすというのが1億円程度の借入が可能かどうか繰上償還に対する考え方はどうか

等について質疑があり、水産部長、漁政課長より答弁。

② 委員長より、ソ連ニシン輸入について漁連にどう指導してきたか、について質疑があり水産部長より答弁。

③ 道南地区における台風第4号による被害状況について漁政課長補佐より説明を聴取の後、

大島(仁)委員(社)より、この被害が漁業生産に与える影響はどうか、

榎委員(社)より、道として救援対策をやっているか

について質疑があり、漁政課長補佐より答弁。

④ 道東地区の流水被害について漁政課長より説明を聴取。

⑤ 委員長より、浜益のかれい刺網漁業安全操業の問題について道が中に入つたというがどうなのか、函館貿易が漁網をソ連に輸出するようだがどう考えているか、

川村委員(社)より、低位経済振興資金について20カ町村指定の基礎資料並びに当初議会における沿岸振興のモデル地区についての計画に関する資料の提出方等について質疑、意見及び要望があり、水産部長、漁

業調整課長より答弁。

○6月12日 午後零時27分、第3委員室において開議、午後零5時分散会、委員長 麻里悌三(自民)

一般議事

① 北方地域見舞金法案が廃案になつた経過について水産部長より説明を聴取の後、

委員長より、この法案は8月の臨時国会に提出されるかどうかについて質疑があり、水産部長より答弁。

② 大島(仁)委員(社)より、羽幌町がパイロット集落設置事業地域に指定され、予算が500万円に査定されることになつていたが新聞によると、270万円となつていっているがどうしてこうなつたか

について質疑及び意見があり、水産部長、水産課長補佐より答弁。

③ 秋山委員(自民)より、ソ連ニシンの輸入はどうなつているか

について質疑があり、委員長より応答、水産部長より答弁。

文教林務委員会

○6月12日 午前11時32分、第1委員室において開議、午後1時15分散会、委員長 大沢重太郎(自民)

請願、陳情の審査

請願

第362号 利尻礼文道立自然公園を国定公園に昇格要望の件 (採択)

一般議事

① 湯山委員(社)より、利尻道立自然公園の現地調査の経過について報告の後、異議なくこれを了承。

② 林務部長より、道有林課職員の収賄容疑事件の経過について説明並びに遺憾の意思表示があつた。

③ 堀委員(社)より、植樹行事、国土緑化大会で全道的に植樹を啓蒙されたがその概況はどうか、記念植樹2303本及び農家林用ポプラは無償配布か、改良ポプラ植林の基本的考え方及び改良ポプラの用途は何か、先に王子の改良ポプラを現地調査したとき100石6万円工場着値となつているがこの価格では採算がとれないのではないか、またカラマツと比較した対比表を資料として提出されたい、

山下委員(社)より、合板資本、マッチ資本及びポプラ資本との間の競合が起きないか、農家林造成のため道が苗木を提供する考えがないか、

湯田委員(社)より、落葉樹の先枯病が目立つてきたがその対策はどうか

等について質疑があり、林務部長より答弁。

④ 本日聴取した陳情は次のとおり。

- (1) 利礼道立自然公園を国定公園に昇格方について
礼文町長
- (2) 室蘭市に道立高等学校設置について
室蘭市内父母と先生の会連合会長

特別委員会

○6月14日 午前11時12分、第1委員室において開議、午後2時40分散会、委員長 大沢重太郎(自民)

一般議事

① 林務部長より、ポプラ栽培の収穫予想について説明を聴取の後、

堀 委員(社)より、伐期15年で普及するというがその大綱を示されたい、王子の契約造林の場合バルブ材になるまで契約しているか、ポプラは試験の結果安心して奨励できる優良樹種であるのか、

委員長より、本道の造林奨励樹種は決つたのか、また造林者が任意に造林できるのか、その場合の補助対象はどうか、イタリヤポプラは補助対象にならないか、

湯田委員(社)より、本問題については今までの植えればもうかる式ではなしに道は本腰を入れて考え責任をもつて指導すべきでないか

について質疑、意見及び要望があり、林務部長より答弁、暫時休憩の後、午後1時42分再開。

② 教育長より、台風4号による道南及び日高地方の校舍被害状況について説明を聴取。

③ 湯田委員(社)より、道立青年の家設置候補地が内定したと聞くがどこか、その個所付は教育委員会が自主的にすべきものと思うがどうか、阿寒湖マリモ保護対策は国で措置するものか、または道で措置するものか、丹頂鶴の保護対策はどうか、第2回定例会に提案される教育関係追加更正予算の大綱を説明されたい、今回の予算は緊急的なものであつて制度的なものではないと解してよいか、

堀 委員(社)より、道立青年の家設置に関し、この段階において個所付が決まらないのはなぜか、工業高校は36年度に1校分補助なるやに報道されているがその内容はどうか、

山下委員(社)より、道立青年の家設置の個所付に際しては教育委員会の自主性と尊厳をあくまで主張してもらいたい、

委員長より、青年の家に対する事業費はどのくらいか、

林 委員(自民)より、学校教育法の「学校」の解釈はどうか

こと等について質疑、意見及び要望があり、教育長、総務課長より答弁。

総合開発調査特別委員会

○6月6日 午後1時30分、第1委員室において開議、午後2時11分散会、委員長 佐々木利雄(自民)

委員長より、本日は知事の出席を願つているので次期開発長期計画策定の基本方針について説明を聴取することについて諮り、異議なくそのことに決定。知事より、次期開発計画策定の基本的態度及び所見について説明を聴取した。

○6月20日 午後1時25分、第1委員室において開議、午後2時33分散会、委員長事故のため副委員長 吉田定次郎(自民)

① 吉田副委員長(自民)より、次期長期開発計画に関する知事の基本方針ができたので、これ等に関連する資料について理事者の説明を聴取することについて諮り、異議なくそのことに決定。企画本部長、主幹(蝦名、福岡)より「北海道昭和45年度内生産所得第1次規模想定」、「昭和45年度北海道経済規模想定に関する諸試算」、「閣議決定している地方開発計画の概要」、「地方開発計画書の概要の対比表」等について説明を聴取の後、

道下委員(社)より、本日は提出された資料を検討したい、

井野委員(社)より、これらは経過的な参考資料であり、もう少し前向きの資料を出されたい、知事は地域計画を中心とするというが地域計画はできているのか

荒 委員(社)より、この資料ができた根拠及び先に配付の「産業構造」、「産業構造の将来」に関し、この方針を作り始めた時期の問題及び杉野目委、伊藤分科会で論議された内容等について知りたい、この想定の実付資料の提出方、ここにあげられたものだけでは道全体の姿がでていないと思うがどうか、政府の所得倍増10カ年計画はどのようなものか、地域格差を解消することが必要な段階になつていないのではないか、点の開発計画でなく、線の開発計画を行なうよう要望したい、

太田委員(社)より、14支庁長に命じた地域計画は道にでているか

こと等について質疑、意見及び要望があり、副知事(沢田)、企画本部長、主幹(蝦名、福岡)より答弁。

② 吉田副委員長(自民)より、本日提出された資料につ

いては充分検討してもらい、明21日午前10時より引き続き審議する旨を述べた。

○6月21日 午前11時3分、第1委員室において開議、午後零時2分散会、委員長 佐々木利雄(自民)

① 池田(信)委員(協)より、17日開催の北海道開発審議会並びに20日開催の同審議会農林水産小委員会の審議経過について報告があり、異議なく報告を了承。

② 委員長より、昨日要求の資料について提出があつた旨を述べた後、理事者の説明を求め、企画本部長、主幹(蝦名)より「国民所得倍増計画における諸指標」、「北海道における鉱工業開発振興10カ年計画について(第1次試案)」について説明聴取の後、

井野委員(社)より、道の開発については地域計画と部門別計画の密着が極めて重要視されるので14支庁の地域計画について各支庁から道に出された生のものを資料として提出されたい、

太田委員(社)より、支庁から上ってくる計画は道で手直しの上7月中頃にできあがることだがどうかこと等について質疑及び意見があり、企画本部長、主幹(福岡)より答弁。

③ 委員長より、本日の議事はこの程度とすることとし明22日午前10時より引き続き審議を行なうことについて諮り、異議なくそのことに決定。

○6月22日 午前11時33分、第1委員室において開議、午後1時2分散会、委員長 佐々木利雄(自民)

① 委員長より、昨日に引き続き次期長期開発計画に関する審議を行なう旨を述べた後、

塚田委員(社)より、昭和45年第1次規模想定はでているが、第2、第3次規定はあるのか、またどうしてこれを早くできないか、今後第2次、第3次産業の積み上げによりこの想定は動いてくると理解してよいか、昭和45年北海道経済規模想定に関する諸試案中、区分1～7までであるが、第2次、第3次想定ということになるとこの区分の外に参考となるものが必要でないか、第1次想定については国の大枠から想定したのではなく区分1～7の試案から出したものと思うがどうか、第1次、第2次、第3次、運輸通信、公益事業等にわけ数字をはじき出しているが、区分4、5により上限、下限を出した根拠は何か、このように都合良く出さねばならない理由は何か、計画のたて方が道の場合正しいかどうか、また上限下限というとり方は国の成長率を加味し、道産業の将来を検討し積み重ねて組立てたというが、それが正しいかどうかを検討しなければならぬと思うかどうか、

荒委員(社)より、第1次及び第2次5カ年計画を決めるときには手がかりになるものがあつたが、今回

は全国開発計画という指針になるものがあるのに実現可能性のない計画を出しアドバルーンをあげているのは政治的ではないか、実現可能性のあるものを作るべきでないか、この計画の柱に第2次産業がなれば所得倍増計画を丸のみにしないでやるようにしないと意欲的にもりこむこともおかしくなってくるのではないか、第1次産業計画が過少しすぎておりもつと意欲的に行なうべきでないか、今後文化厚生面で相当大きな努力を払わなければならないと思うがどうか、この開発計画はあくまでも中央に要求するという考えで作るべきであり、所得倍増計画の批判及び国土開発計画の変更を求めるといような方向で立案されたい、

井野委員(社)より、第2期計画においては第1期計画の過程で批判のあつたものについて折りこんでいないか、これは第2期計画の中で必要はないと考えたのか、または必要があつても今日の政治情勢で仕方がないと考えたのか、有用資源とは未利用未開発資源と思うか、何かほかに有用な資源が新たにでたのか、この作成要領の中に今までの欠点、矛盾及び良い面をとり入れるべきでないか、資源開発について国は計画経済をやっているが、国自体の考え方も変つて来ており、抽象的な表現にとどまらずもつと具体的な表現がなければならぬと思うかどうか

こと等について質疑、意見及び要望があり、副知事(沢田)、主幹(蝦名)より答弁、ついで

塚田委員(社)より、本道産業の構造と規模について確定したものを中間報告してもらい、またどうしてそのような考え方になつたかの理由をつけて次回委員会に報告してもらおうよう取り計らわれたい

ことについて意見があり、企画本部長、主幹(福岡)より答弁、委員長より塚田委員(社)より要求のあつた中間報告については、理事者において早急に報告されたい旨を要請するとともに、今までの審議の過程で有意義な意見のあつたものについては十分検討を願いたい旨を述べた。

② 次期委員会開催の日取りについては委員長一任とすることに決定。



全国都道府県議会議長会

○6月7日 東京都において離島振興促進協議会総会を開催、まず会長より離島振興法案の成立等までの経過について報告があり、次いで昭和35年度決算の承認並びに役員改選（全員留任と決定）を行ない、次いで経済企画庁和泉離島振興課長より離島振興法の改正内容などについて説明を聴取した後、今後の運動方針について協議の結果、次のとおり決定した。

- 1 各県から離島振興法並びに離島振興全般について希望意見の提出を求め、これらの意見調整及び取扱いは役員会を開いて協議する。
- 2 役員会の会合の時期及び臨機の処置は会長に一任する。
- 3 本会の所要経費は、前年どおり加入県が分担する。

都道府県議会議員互助会

○6月16日 東京都において互助会設立発起人会を開催、まず村田東京都議長を座長に選任した後、坂下全議局長より経過報告があり、次いで次の事項を協議の結果1、2、3については原案どおり、4、5については会長に一任することに決定した。

なお、この会議に先立ち議長会常任幹事会を開きあらかじめ協議した。

- 1 都道府県議会議員互助会規約の決定について
- 2 「都道府県議会議員互助会の副会長及び監事の選任に関する申し合せ」について
- 3 互助会への加入及び脱退の審査基準について
- 4 互助会の設立認可申請について
- 5 互助会の設立登記申請について

資 料

大 臣 次 官 一 覧

内 閣	大 臣		政 務 次 官		事 務 次 官
内閣総理	池田 勇 人	広島 2			
法 務	植木 庚子郎	福井	尾関 義 一	栃木 1	馬場 義 統
外 務	小坂 善太郎	長野 1	川村 善八郎	北海道 3	武内 竜 次
大 蔵	水田 三喜男	千葉 3	天野 公 義	東京 6	石原 周 夫
			堀本 宜 実	参愛媛	
文 部	荒木 萬寿夫	福岡 3	長谷川 峻	宮城 2	緒方 信 一
厚生	灘尾 弘 吉	広島 1	森田 重次郎	青森 1	高田 正 巳
農 林	河野 一 郎	神奈川 3	中馬 辰 猪	鹿児島 2	西村 健次郎
			中野 文 門	参兵庫	
通商産業	佐藤 栄 作	山口 2	森 清	千葉 3	松尾 金 藏
			大川 光 三	参大阪	
運 輸	斎藤 昇	参三重	有馬 英 治	福岡 4	朝田 静 夫
郵 政	迫水 久 常	参全国	大高 康	茨城 2	大塚 茂
労 働	福永 健 司	埼玉 1	加藤 武 德	参岡山	亀井 光
建 設	中村 梅 吉	東京 5	山口 六郎次	埼玉 2	柴田 達 夫
自 治	安井 謙	参東京	大上 司	兵庫 4	小林 与 三次
国務 国家公安委員長	安井 謙	同			
国務 行政管理庁長官	川島 正次郎	千葉 1	岡崎 英 城	東京 4	犬丸 実
国務 北海道開発庁長官	川島 正次郎	同	田中正 巳	北海道 3	熊本 政 晴
国務 防衛庁長官	藤枝 泉 介	群馬 1	笹本 一 雄	群馬 2	門叶 宗 雄
国務 経済企画庁長官	藤山 愛 一 郎	神奈川 1	菅 太 郎	愛媛 1	小出 栄 一
国務 科学技術庁長官	三木 武 夫	徳島	山本 利 寿	参島根	鈴江 康 平
国務 原子力委員長	三木 武 夫	同			
内閣官房長官	大平 正 芳	香川 2	内閣官房副長官	服部 安 司	奈良
				細谷 喜 一	
総理府総務長官	小平 久 雄	栃木	内閣法制局長官	林 修 三	

政 党 主 要 幹 部 一 覧

自 由 民 主 党

総 裁	池 田 勇 人	広 島 2
副 総 裁	大 野 伴 睦	岐 阜 1

幹 事 長	前 尾 繁 三 郎	京 都 2	
副 幹 事 長	鈴 木 善 幸 山 中 貞 則 赤 沢 正 道 徳 安 実 蔵 塩 見 俊 二	岩 手 1 鹿 児 島 3 鳥 取 鳥 取 参 全 国	瀬 戸 山 三 男 田 中 竜 夫 中 垣 国 男 福 家 俊 一 後 藤 義 隆 宮 崎 2 山 口 1 愛 知 4 香 川 1 参 大 分

総 務 会 長	赤 城 宗 徳	茨 城 3	
副 会 長	長 谷 川 四 郎 岩 沢 忠 恭	群 馬 2 参 全 国	富 田 健 治 兵 庫 2

政 務 調 査 会 長	田 中 角 栄	新 潟 3	
副 会 長	本 名 武 南 好 雄 永 田 亮 一 小 山 長 規 梶 原 茂 喜	北 海 道 5 石 川 2 兵 庫 2 宮 崎 2 参 全 国	大 石 武 一 原 田 憲 昭 小 笠 公 道 坂 田 太 衛 高 橋 宮 城 2 大 阪 3 熊 本 2 参 福 井

政 務 調 査 会 各 部 長

内 閣 地 方 行 政 国 防 法 務 外 交 財 政 文 教 社 会	内 田 常 雄 渡 海 元 三 郎 堀 内 一 雄 松 野 孝 一 松 本 俊 一 郎 足 立 篤 一 郎 中 村 庸 一 郎 村 山 道 雄	山 梨 兵 庫 3 山 梨 参 秋 田 広 島 2 静 岡 3 千 葉 3 参 山 梨	労 働 農 水 産 商 交 通 交 通 建 設	働 林 産 工 通 信 設 計	柴 田 一 治 小 枝 長 治 田 口 本 原 勇 守 岡 砂 松 村 守 木 原 平 村 守	栄 雄 郎 茂 格 雄 江	参 全 国 岡 山 1 長 崎 1 奈 良 島 1 広 参 福 島 3
--	--	--	----------------------------------	-----------------	---	---------------	---

国 会 对 策 委 員 長	江 崎 真 澄	愛 知 3	
副 委 員 長	三 和 精 一 木 村 公 平 高 藤 田 義 光 上 林 忠 次	青 森 2 岐 阜 1 広 島 3 熊 本 1 参 全 国	久 野 忠 治 古 川 文 吉 白 浜 仁 吉 池 田 清 志 愛 知 2 大 阪 4 長 崎 2 鹿 児 島 2

全国組織委員長	小川半次	京都 1
広報委員長	志賀健次郎	岩手 2
党紀委員長	郡 祐一	参茨城
財務委員長	山崎 巖	福岡 3

日本社会党

中央執行委員長	河上丈太郎	兵庫 1		
書記長	江田三郎	参岡山		
政策審議会長	成田知巳	香川 1		
副会長	永井勝次郎 中沢茂一	北海道 5 長野 1	八木一男 松沢兼人	奈良 参兵庫
国会対策委員長	山本幸一	岐阜 1		
副委員長	多賀谷真稔 小林孝平	福岡 2 参全国	堂森芳夫 久保 等	福井 参全国
統制委員長	猪俣浩三	新潟 4		
財務委員長	松原喜之次	大阪 3		

民主社会党

中央執行委員長	西尾末広	大阪 2		
書記長	曾 禰 益	参神奈川		
政策審議会長	今澄 勇			
副会長	内海清 片岡文重	広島 3 参千葉	玉置一徳 東 隆	京都 2 参北海道
国会対策委員長	田中幾三郎	三重 2		
副会長	井堀繁雄	埼玉 1	田畑金光	参福島
財務委員長	竹谷源太郎			

参議院同志会

議員総会議長	村上 義一	滋賀
政務調査部長	森 八三一	全国
国会対策部長	大竹平八郎	全国

政 党 役 員 名 簿 (北海道)

自 由 民 主 党				日 本 社 会 党			
道 連 会 長 同 副 会 長	南 条 德 男 德 中 祐 満 本 名 武 本 藤 田 余 吉 川 口 常 一			執 行 委 員 長 副 執 行 委 員 長	荒 瀬 哲 夫 藤 正 志		
幹 事 長 副 幹 事 長	岩 本 政 一 高 橋 賢 一 神 部 俊 郎			書 記 長	平 野 三 郎 兵 衛		
総 務 会 長 同 副 会 長	佐 々 木 利 雄 大 沢 重 太 郎 吉 野 恒 三 郎 古 沢 泰 一						
政 務 調 査 会 長 同 副 会 長	阿 部 英 一 樋 口 哲 男			政 策 審 議 会 長	川 村 清 一		
議 員 会 長 同 副 会 長	中 山 信 一 郎 伊 藤 弘 造 奥 野 善 造			議 員 会 長 同 副 会 長	道 下 美 作 堀 重 平		
議 会 対 策 委 員 長 同 副 委 員 長	深 山 和 圀 岡 嶋 保 二 郎			幹 事 長 副 幹 事 長	塚 田 庄 平 岡 田 義 雄 山 田 勤		
協 同 党				民 主 社 会 党			
執 行 委 員 長 副 委 員 長	宮 本 仙 松 二 瓶 栄 吾			執 行 委 員 長 副 委 員 長	小 平 忠 窪 田 長 松 二 見 俊 男		
幹 事 長	黒 松 秀 夫			書 記 長	堀 野 豊 夫		
政 務 調 査 会 長	池 田 信 孝			政 策 審 議 会 長	桜 井 淳		
議 員 会 長	二 瓶 栄 吾						

6月のメモ

- 1 ○住宅公団、公団住宅居住者の家計状況まとめる。
- 2 ○防衛二法案可決成立。
○道労働部、道労働経済の分析を発表。
- 3 ○米・ソ首脳会談始まる、焦点はベルリン問題。
○政防法案、衆院を通過。
- 4 ○警察庁、ジャリトラック白書を発表、事故、建設ブームに比例、死亡、全自動車事故の8%。
- 5 ○国鉄道支社、道内国鉄の新5カ年計画を発表、準急、急行を増発、蒸気からディーゼル化。
○道総合開発企画本部長に那須正信氏、商工部長に村林良夫氏発令。
- 6 ○政府、本年度通商白書を発表、輸出本年下期から回復、伸長に構造改革が必要。
○農基法案可決成立。
○道警本部「少年非行の現況」をまとめる。
- 8 ○第38回通常国会終わる。
○ガリオア・エロア債務返済交渉妥結。
○衆院久保田副議長不信任案可決で辞任、原健三郎氏（自民）副議長に選任される。
- 13 ○自民党道連執行部決る、幹事長岩本政一、総務会長佐々木利雄、政調会長阿部英一。
- 14 ○全国知事会議開く。
○原水協原爆白書をまとめる。
○社会党第34回中央委員会開く。（東京）
○農業6団体統一要求米価を決定150kg当り11,914円。
- 16 ○農林省、農家の就業構造を発表、働き手の流出激増、中農に貧富の差目立つ。
- 19 ○池田首相米国へ出発。
○消防庁昨年中の全国火災状況をまとめる、出火死傷とも戦後最高43,684件、240億円の損失。
- 20 ○池田・ケネディ第1回会議開く、中国問題など討議。
○岸前首相来道。
○東京オリンピック10月11日から15日間に決まる。
- 22 ○自治省、開発企画本部の設置を認可、41年3月31日までの5カ年。
○道、学校基本調査結果（一部）を発表、小学生は減少をたどり、中・高校生は増加。
○十河国鉄総裁来道。
- 23 ○通産省、雑貨輸出振興法を制定する方針をきめる。
○第2回定例道議会招集。
- 24 ○厚生省、各種年金の使途調査結果発表、母子年金はほとんど生活費、高齢年金の夫婦受給者、単独者より苦しい。
- 25 ○第16回毎日マラソン、アベベ選手が優勝。
○池田首相、カナダを訪問。
- 労働省、35年度労働白書を発表。
- 通産局、本道工業の適正配置構想発表、45年紙パルプ7.3倍に用地用水は十分。
- 27 ○池田・ジープエリベーカー首相日加共同声明発表、閣僚委員会設け経済関係を緊密化。
○農林省、農業構造改善事業促進対策案をまとめる、92地域を指定、36年度100万円づつ助成。
○第6次南極観測隊隊長に吉川東大教授きまる。
- 28 ○第45回ILO総会、週40時間制を採択。
- 29 ○米価審議会、36年産麦価を政府原案どおり答申。
○通産省、鉾山緊急対策まとめる、全炭鉾に救命具、中小鉾の改善には補助。
○町村知事初の炭鉾視察、住友、奔別、北炭幌内。
○東海道、関東地方の豪雨各地に被害もたらす、死者235、行くえ不明174。
- 30 ○池田首相帰国。
○道議会新常任委員きまる。

昭和36年7月20日発行

北海道議会時報 (第13卷)
(第7号)

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局